

うえだ環境市民会議 NEWS

平成 15年 11月 15日
創刊号

発行人：
うえだ環境市民会議

〒386-8601
上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課
電話：0268-23-5120
FAX：0268-25-4100
ueda-ksk@egroups.co.jp

うえだ環境市民会議は、市民・事業者・市のパートナーシップにより、7つのワーキングチームにわかれ、環境をよくする活動に取り組んでいます。毎月このNEWSにより、みなさんに活動の状況をお知らせしていきます。活動には、誰でも、どのワーキングチームにも参加できます。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

自然豊かな山と川を育むまち

■10月26日ミーティング開催
○勉強会の開催

上小地方事務所林務課普及林産係林業改良指導員から、「多様な森林づくり」と題し、針葉樹林と広葉樹林の割合と今後の変化、松くい虫対策等についてお話いただきました。

○当ワーキングチームでは、次のとおりサブチームをつくり、活動する事が検討されました。

- ①グリーンベルト、鎮守の森、公園などの保全
- ②自然豊かな、きれいな水を育む山林へ導く。
- ③休耕田、耕作放棄水田を、生態系維持のため保全活用する。
- ④その他



●次回ミーティング 11/18(火) 午後1時30分から 上田市マルチメディア情報センター会議室 講演・マルチメディア情報センター清水所長「現代社会とふるさとの自然環境(山林の荒廃と再生、山林化した荒れ放題の山腹の畑の復活と活用)」

誰もが安心して健康に暮らせるまち 「きれいな水の循環を考える」

■10月31日検討内容報告

- (1) 地域の川について
 - ・川は流域全体の公共の財産であると共に、地域住民の共通の財産である。
 - ・水辺の持つ経済価値として(やすらぎの空間、ゆとりの空間、ヒートアイランド防止、防災、イベントのできる空間⇔河川敷とその空間)がある。人々が川に注目する事が川をきれいにする事に結びついてくる。



うえだの景観

■10月18日 中央公民館「地」元学のすすめ」実行委員会の主催で、「うえだの景観」講座を開催

講師をチームリーダーの竹内秀夫が務め、旧ゼニヤ写真館、旧草間歯科医院、信州大学繊維学部講堂、上田蚕種協業組合、旧松高眼科医院と、市内に残る擬洋風建築を見学した。建築年、構造、屋根の形状、外壁仕上げなどについて解説し、蚕糸業を通じ、横浜から世界に開かれていた上田であったからこそ、たくさんの擬洋風建築が残っているのであることなどを理解していただいた。

参加者から、旧草間歯科医院をアンティークショップや喫茶店、レストランに、旧ゼニヤ写真館をグループの活動拠点にしたいなどという意見があり、具体的なアイデア等をいただきました。今後は、これらの活用アイデアを現実のものに近づけるため、更に持続可能な活用方法を検討していきたい。

地球SOS

■10月31日検討内容報告

○各家庭で出来る省エネルギーの具体案作成

○自然エネルギーの活用…太陽・水力・風力・その他の方法検討

○ゼロエミッション(持続可能な循環型社会)のため

・廃食油のリサイクル化(再生燃料化)より生れたBDF(バイオ・ディーゼル・フューエル)の供給と啓発

・菜の花プロジェクト…塩田のうえだファームにて14年秋より蒔種し初夏に収穫

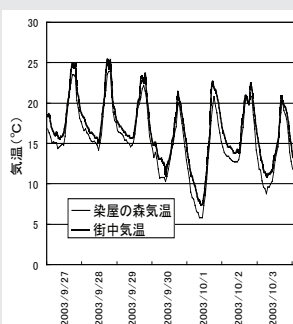
○ヒートアイランド現象の観測…森と街に気温測定器を設置、計測。身近にある緑地が私たちの生活にどのように影響するか。

○地球温暖化の監視(5年〜10年)

・ケヤキの開花日観察・残雪モニタリング(浅間山・立科・北アルプス)・烏帽子岳の監視(初雪・残雪)

森と街の気温比較

このグラフは、秋の一周間の気温です。日中の一番暑さを感じる時には、2.6度でも気温差があります。森では、葉が蒸散作用することから、気温が抑えられるのです。また、真夜中には、2.1度も差が出ます。日中暖まったアスファルトやビルの壁などが、夜に続いているため、暑いからと、冷房器を使用している状態に、森・緑の果たす効果を取り入れます。



ごみ減(530) ゴミゼロ 資源を有効に利用するまち

■10月17日ミーティング開催

○「ごみ減」活動方針をまとめました。

○食品トレー削減について

先進地である長野市の「ながの環境パートナーシップ」の取組事例を、長野市の担当者の方に報告いただきました。いただいた資料を基に、ごみ減チームとしての取組方法を次回までに各自検討する事になりました。

○上小地域有機資源循環ネットワークについて

信州大学、NPO法人等から構成されるネットワークの活動に、チームとして参加するか検討しました。地域の生ごみから堆肥を生産する、有機資源の循環システムの構築が目的です。今後、参加に向けて、更に検討していきます。

●次回ミーティング 11/21(金) 午後1時30分から 市役所本庁舎2階第2会議室

環境学習 (いのち) 命の連環を学ぶ

■10月9日ミーティング開催

○環境モデル都市づくりを進めている水俣市、北九州市の資料を取り寄せ紹介した。

○前回に引き続き、今後の進め方を提案しあう

・環境問題は間口が広く、人間の生活・活動すべてが環境に結びついているので、どこから進めていけばいいのか戸惑う。

・個別課題についての学習は、他の個々のWTで取り組まれるので、環境問題をトータルに学ぶ場を設定する方向で考えてみてはどうか。

・環境について活動している市民グループや、生涯学習課、公民館などの講座の情報を収集し、出来るだけ協働していく必要があるのでは。

・他のWTとの連携を図り、学習会の内容、スケジュール等を調整して、講座の企画をする必要があるのでは、事務局会議で他のWTの活動計画、内容を把握して、今後の企画を考えていく。

・他のグループ、WTなどのコーディネート機能も求められるのでは。

・まだ始まったばかりで、メンバー各自の考えも方向性も明確になってきませんが、一人一人が納得して取り組めるよう、焦らずじっくり楽しみながら進めていきたい。

●今後の予定 11/4(火) 県環境保全協会へ、環境関連書、資料、ビデオの視察
次回ミーティング11/10(月) 19時から 市役所本庁舎2階第2会議室

環境ISOネットワーク

事業者対象のワーキングチームです。事業者間の環境対策情報の交換や、上田市版ISOの構築による、小規模・個人事業者への環境改善プログラムの提供及び支援を目指します。

うえだ環境市民会議今月の予定

第2回うえだ環境市民会議開催

日時…11月28日(金) 午後1時30分から 会場…清浄園

内容…講演会「地球環境とわたしたちの暮らし」講師…林 一六 筑波大学名誉教授 他